

逗子海水浴場のあり方検討会 概要

平成 26 年 10 月 16 日（木） 14：30～16：30

逗子市役所 5 階 第 5 会議室

1. 開会

- ・ 資料確認
- ・ 事務局よりあり方検討会は傍聴できることと、メディアの頭撮りについて説明。
- ・ 事務局より今後の予定について説明

2. 議題 -中間報告の作成について-

- ・ 座長あいさつ
- ・ 座長よりあり方検討会の進行について説明

(1) 予算に関する項目について

<座長> 前回到続き、アンケート結果の予算に関する項目のうち、来年以降の海水浴場の振興・活性化に繋がると考えられるイベント等の項目について、積極的に意見を頂きたい。

今回の議論内容は、中間報告書の 17 ページに反映をさせて頂く。

- ライフセーバーとその器材を使用して、ライフセーバーの目の届く範囲で、子どもと遊べないか検討中である。また、混雑していないときに、空いている場所を使って、綱引き等の子どもが参加できるイベントを期間中、複数回実施できないか。
- 以前、子ども会を通じてライフセーバーと遊ぶ企画があったのだが、思い出に残る楽しい企画であり、子どもだけでなく親にも好評であった。海に馴染みのない子どもにとっては、ただ泳ぐだけでなく、一歩進んだ海の楽しみ方が体験できる機会となる。
- 子ども達が、建築の段階から夏季の営業まで関わり、ひと夏の間、子どもと大人が関わりあいながら色々と経験できる、ファミリービーチの象徴となる海の家が欲しい。
- 具体的な実現方法として、ビーチのコンセプトに合った海の家事業者を公募するのはどうか。公募の際には、運営等で困らないように、補助金等の制度を作って実現してはどうか。
- 子どもが海に行くチャンスが無くなり、海に行かない子どもが増えたのかもしれないので、昔あった、豊泳会や、割引券をもらって子ども達だけで利用できる海の家が復活すれば良いのでは。
- 子ども向けに、海で泳ぐ練習を行う通いの合宿を行い、最終的な仕上げで遠泳を行った。海で泳ぐ子どもを増やすことが大事なので、来年にむけて、既に公益財団法人日本水泳連盟等と進めており、草の根運動のような形で始めている。

<座長> 様々な団体で輪を広げていき、企画できればと思う。

<事務局> 子ども向けに限らず、何か振興策等があればそれに関してもお知恵を頂ければ。

<座長> 様々な団体がスポット的に企画をやっており、その団体と関わりの無い人はイベントの存在自体を知らないことがある。そこを各団体の連携をとり、一連の企画とできれば、参加者の底辺も広がり、市民以外の参加も呼び込めるのでは。

せっかくなので、何か事例報告等あれば、言っていただきたい。

- 今年、下田の弓ヶ浜で海上に遊具を浮かべて、アスレチックを作っていた（「スプラッシュウォーターパーク」）。色々課題があり簡単にはできないであろうが、面白いので、逗子でもやってみたいと考えて検討している。下田でも大勢の利用者が居たので、逗子で実施すればもっと利用者が集まるかもしれない。
- スプラッシュウォーターパークをニュースで見たが、あれは良いと思う。今までの提案は全て良い物なので、具体的な方法論まで提案すれば、親切だと思う。
- 東京にキッズニアという、子どもが主体となれる施設がある。そこに似たもので、子どもが運営する海の家で大人が楽しませてもらう、というのも面白いのでは。
- 今年、何軒かの海の家が 10 杯分の値段で 11 杯飲めるビール券を出しており、私の周りでは好評であった。全ての海の家で使えるビール券のような物や、組合全体で名物を打ち出し各海の家がその名物に特色を出す、のような海岸組合の横の繋がりを強化して欲しい。
- 商工業者としては、来年いかに集客するかという観点で見ている。神奈川県でも「かながわの海岸利用のあり方検討会」などで、色々規制の話が出始めているなかで、いかに逗子をそこから一段上げてアピールするかが大事。その為には、市が予算を確保して、音頭を取ってまとめる体制を作っていただきたい。民間のみの力では限界がある。
- 「かながわの海岸利用のあり方検討会」で、県に入った収入を全部市へ渡して欲しい、という話があったが、それは最終的な提言に載ったのか。

<横須賀土木事務所> 権限委譲を検討するという話は、提言には入る。ただし、権限移譲をした場合には、日常的管理全般を通年で行う必要があるため、かえって支出が増えるという実態がある。

- 商工業者としては当然なのだが海の家は経営を重視するので、今までの様々な案を実現するならば、市がもっと投資をして海の家に関与する必要がある。海水浴場の資産の中心が海の家であるならば、そこに投資する必要があると考える。
- 市が砂浜にオープンスペースを開設して、各団体がイベントを行う際にはそこを使えるようにしてほしい。海岸組合には場所的に負担がかかるが、県と市と海岸組合で調整して実施してほしい。

夏に重点を置くのは当然だが、ファミリービーチとしては、通年の海岸全体を考えていければと思う。

各団体がそれぞれ実施している企画を、市又は観光協会が一括で管理する、ひとつのグループの中に入っていき、という形をしっかりと作りあげた方が良いだろう。観光協会がまさにそれを担う団体だと思うので、各団体でバックアップする必要もある。現状市内では、各団体が様々なアイデアを持っており、きちっとしたことを実施しているが、それをまとめる場所が無い。

- 予算等しっかりつけて、観光協会が主体となるのが一番現実的だと考える。

- フリースペースについては、現状の東浜などとあまり変わらないので、インフラを整えて発展させれば、イベントが実施しやすくなるのでは。また、インフラの使用料を海の家等から取れば、それを維持管理費に充てることもできるのでは。
- 海岸の公衆トイレには電気・水道が引いてあり、それを上手く使える方策を考えれば不可能ではないが、実現するのは難しい。以前、太陽の季節文学記念碑を設置する際に、トイレから電源を引いて照明を取り付けようとしたのだが、どうしても上手くいかなかった。10年近く前のことではあるが、ハードルは高い。
- 海岸法の主旨は、以前は海岸災害からの防護に重点を置いていたが、改正されて現在では防護のみならず適正な利用等も含まれているはず。

(2) その他

- <座長> 商工会・中商連（中央商店街連合会：逗子駅周辺の6商店街のあつまり）と観光協会からの発表をしていただく。
- <商工会> 商工会と中商連で実施したアンケート（資料1）の説明
アンケートに回答した店舗のうち、海水浴場開設の影響を受けるのは26.8%であり、さらにその中でも今年について売上減が68.2%、変化なしが12.5%、その他変化が10.2%、増加が9.1%であった。
- <商工会> 自由意見の記入もあり、そこでの意見を集約すると、次のとおりであった。
「今回の条例について、内容に関してはこれからの逗子海岸が目指す方向としては良かった。ただ、人は減ったが街は綺麗になり治安が改善して良かった、で終わってしまっただけは街の景気は良くなる。海浜関連業者にとっては死活問題であり、海岸周辺の住民の方には静かさはこの上ない事であるが、海浜関連業者の負の上に成り立っていることをお忘れなく。昭和30年ごろの逗子・葉山の海を振り返れば、時代の違いはあれ、雲泥の差である。産業のない街にとって、夏の1～2カ月を大いに盛り上げるべき。海岸組合は次年度について、どの様に考えているのか。ファミリーをいかに呼び込むかを官民一体でもっと積極的に議論すべき。駐車場の大型化、ファミリーが楽しめるイベントの開催、子ども向け大型遊具の設置などイメージアップした逗子海岸を来年アピールして欲しい。」
商工業者の意見としては、安心・安全なファミリービーチということをアピールして、海に来ていただいて、なおかつ逗子を良い街だと感じていただける街にしたい、というものであった。
- <中商連> 中商連のなかでも、商店街・業種によって海の影響を受ける度合いは千差万別であるので、商店街としてまとめるのは難しいが、結論としては、海のあり方に対して大勢は賛成であり、影響を受けた商売の人は何とかして欲しいという意見があるが、昔に戻れば良いとは思っていない。ファミリービーチとしての逗子を最大アピールして、その中で商店としてもプラスがある施策をどう考えるか、だと思ふ。例えば、今年ずし30'sが作成し、海の家も店内に置いてくれた商店街MAPのような、帰りの客を誘引するしくみ等、海のあり方を踏まえた上で、商売にどう好影響を及ぼせるかを、商店の側も考えなければならない。

- <観光協会> 9月29日に観光協会の理事会があり、参加した理事から頂いた意見を簡単に紹介する。
- ・JR 逗子駅長…乗降客のマイナスは厳しかったが、マナーは良くなっている。今後はイベント等で人が増えると良いのでは。
 - ・漁業協同組合…個人的な意見だが、砂浜のみ飲酒可能は良い。音楽については、ボリューム等をきちんと制限すれば少しは良いのではないか。
 - ・観光推進の会（観光ボランティア）でのアンケート結果を簡単に紹介する。環境については、静かで安全になり家族連れ・若者が増えた、入れ墨の外国人・荒れそうな若者が減った、案内に対してお礼を言える若者が増えた。利用者からの不満としては、逗子は厳しくて物足りないと言われた、売上減少をお店の人からも聞いた。一色海岸への臨時バス運行等から、葉山に人が流れたと感じた。課題については、公共の場での飲酒・喫煙がまかり通る日本は先進国ではない、逗子はやはりファミリービーチであるべき、19時30分までの海の家営業時間の延長、海岸経営については市民目線の見方も必要。
 - ・海岸組合…今年営業をして、事件・事故の無いことがなによりであった。今後は近隣の方々と協議しながら経営していく。興業ではなくイベントで逗子を盛り上げていきたい。
 - ・タクシー組合…できるだけ多くの方に逗子に来ていただきたい。
- その他に、18時30分に海の家が閉店し、帰りの客が一斉に街中に流れてきても捌けない店もあるので、営業時間を延長して客が帰る時間帯に幅を出して欲しい、という意見もあった。まとめると、飲酒・バーベキューについては支持、音については音量基準をしっかりとすれば良いのでは、営業時間については日没が楽しめるまで延長、客の帰る時間帯に幅を持たせて欲しい、というものであった。
- 観光協会事務局として、1つ目に、来年はファミリービーチをPRし、それを市内外への逗子海岸への理解と集客につなげていきたいと考えている。海岸でイベントを実施している団体の動き等をまとめ、逗子海岸全体のPRとして市内外へ伝えていきたい。
- 2つ目は、夏休みに子ども向けの数回のイベントの実施を考えている。場所の提供等で海岸組合との協力が欠かせず、注意喚起のために拡声機の使用が必要になる。内容については、今日までに出ている意見や、まちづくりトークでの意見等を参考にする。
- 3つ目は、夏だけではなく通年を通して逗子海岸をPRしていきたい。
- 県の観光協会のPR等があったのだが、中々PRすることがなく参加していなかったが、今後は機会があったらPRに出て行きたい。
- 統計方法が変わる前で、データがある平成10年に実施された逗子の繁華街の商業に関するデータを元に、自分なりに海水浴期間中の影響について試算してみた。繁華街の店舗が223店舗で、年間売上高が大体225億6千万円くらい。月になおすと1店舗で約800万円。影響を受ける店舗が7割。この程度の大雑把な数字程度しか出せなかった。店舗毎で差もあるだろう。
- <中商連> 商店街の売り上げ減少の理由の中に、消費税増税、お盆付近に天候に恵まれなかった、などを含めて、売り上げが減少したという答えが出ていた。全てが海という訳ではないだ

ろうが、どの程度が海の影響であったかを出すことは無理なので、売り上げが減少・増加という聞き方しかできなかったことを、付け加える。

- 地域の商店街等が潤わないと、逗子市の財政にどの程度影響があるのか、地域の住民にどの程度影響があるのかを知りたい。商店街の潤いと地域住民の生活とは、別の要素なのか。
- 商店の存在による生活の利便性等を考えると、影響はあるのではないか。
- 商店からの税収が、どれだけ逗子の財政に影響があるのか。
- 海岸でイベントをやるにしても、市民が楽しむためか、市外からの誘客のためかにより、案を出すにしても、市民の必要な我慢の案分等のどの程度自分ごとなのかという前提の上で意見・提言をしたい。
- マリンショップの大きな収入源としては、会員の置場とスクールがある。統計を取ってはいないが、規制強化の影響による、置場を使用している会員の脱退はほとんど無かった。一方でスクールは、どのショップも台風等天候の影響で土日が潰され、今年の半分となり売り上げ減少の大きな要因となった。環境については良くなったという声があった。
今年、海の家との連携を取れなかったのも、それができれば活性化でき、さらに商店街との連携も取れれば活性化できるのでは、と感じる。
- 海水浴客が葉山の方に流れたと観光協会の話のなかであったが、バスに乗っている人が例年よりも多かったと聞いていたので、納得した。今年逗子が厳しくなり、客が鎌倉に流れるだろうと予想されたが、鎌倉も客数が減っている。人の流れについて疑問なので、市の方から何か聞かせてもらえれば。

<事務局> 葉山・鎌倉共に海水浴客数は1割程減少しており、逗子は半減なので、相対的に葉山に行く人の割合が増えている。また、鉄道の利用者は減っているが、海沿いのロードオアシス（駐車場）は利用者が増えている。半減している上に、鉄道利用者が減っているのであれば、葉山に行く人の割合が上がっており、葉山に行く人が増えていると捉えられる可能性は十分あり得る。

- 総合的なプロモーションや、海岸を含めた逗子での1日の遊び方を案内する、などの機能が今まで無かった。海の家と商店街が意外と関わっていなかったのも、海の家が食材を商店から仕入れる等の繋がりを持って、経済活性化や案内をしても良いのでは。
また、夏の間、警備員ではなくて、案内人や、PR ツールに予算を使っても良いのでは。
- 今まで、商店街は受動的でもそれなりに入っていたが、これを機会に海岸組合に積極的に購入を働きかける等、能動的に動いていき、良い街にしたい。
- 商店街の組合のなかに、海岸組合が入ってないと聞いたのだがどうなのか。
- 海を家の経営者が、どこかの商店街に所属していることはあるが、海岸自体は商店“街”ではない。
- 昔の海の家組合は、シンボルロードから海岸近辺まで、旅館も含めた巨大な組合だったと聞いたことがあるのだが。
- 恐らく別組織ではないだろうか。
- 10年程前に中心市街地活性化事業というものがあつた。その後、景気悪化等で活性化で

きる状況で無かったが、そこに再度注目して新しい息を吹き込めれば、話題にはなるだろう。

- 海岸組合から、今年の5月に下水道の整備で、中心市街地活性化事業の補助金を国に申請しようとしたところ、市長のサインが必要だったのだが、係争中ということで断られたと聞いた。
- 迷惑をかけ続け、言うことを聞かない海岸組合の商売のために、なぜ税金を使って下水道整備をする必要があるのか、排水を垂れ流すのならば海の家自体を止めてしまえばいい、というのが近隣住民の意見。

商工会の発表で、海浜関連事業者の負の上に近隣住民の生活が成り立っている、という意見があったが、発言者の見当は付く。あの人が、海を滅茶苦茶にしておいて、未だにその様な意見を言っていることが腹立たしい。自分が代表を務めていた時は、東浜はマリンスポーツエリアだから水上バイクをやるなど言い、海水浴場と海の家を中央に寄せ場所を空けておきながら、代表を辞めたとたん、水上バイクやバーベキューを好き勝手にやり、今年も東浜を勝手に占有している。ヤクザ者を連れてきて、四輪バギーを乗り回して喧嘩にもなっており、警察にも言った。渚橋の横も占有して、自分たちの遊び場の水上バイクを置いている。その様な人が、これまでの責任を何も取らないで、商工会等でのうのうと発言していることが許せない。

しっかり考えてもらいたいのは、今年良かったのだから現状維持して頂きたい、というのが住民の意見。自治会の役員会でも、このままで良い、活性化には興味は無いという意見であった。海水浴客が商店街に、ゴミを捨てたり、排泄したりで、管理していた自治会は困っていたが、それが無くなっただけで万々歳。付け加えるならば、これからは誇りを持って遊びに来た友人逗子海岸に連れて行ける、なら活性化は必要かな、という程度。10年近くにわたる苦悩からやっと解放されたので、10年以上は現状維持して欲しい。活性化はその先。

- そのような意見が今まで出てこなかったのが不思議。それが現実だろう。
- 今の話は、以前行政の集まりが無いなかで新宿地区の方が場所を開いてくださり、自由に意見を言っていた、そこで出ていたような話。その場でも意見やお願いごとを、当時の組合の代表者に言っても、結局何もやってくれなかった。それで規制が実施されたので、市長がここまでやってくれたなら、現状維持で良い。現状維持で良いと思っている人は声を上げないので、そうで無い人の意見が大きく聞こえるだけ。
- あり方検討会内部で合意・整合性をとらずに、意見の羅列だけでは市長は判断のしようが無いのではないか。
- 現在のあり方検討会は、新宿・逗子の住民が固まっているので、海岸からは遠い住民や商工業者にとっても、フェアな会が運営されるメンバーではないと感じる。この会の多数決は地元住民の代表でありながらも、地元だけを考えるのではない立場に立って検討すべきではないか。
- だから、多数決で意見を決めなくても良いし、皆がその立場で意見を言い、最終的には市長が判断すれば良いのでは。

- あり方検討会として議論した結果、会としての明確に意見を出すべきだと考える。その際に補足意見として、反対意見を載せる必要もあるが、ある1つの線はあるべき。
- それは無理なのでは。例えば、今回の商工会のアンケートは画期的であり、住民側としては初めて知ることもあり、もっと地元で買い物をする動きになったりする。あり方検討会に参加したことで住民も色々なことを知れる。だが、最終的には様々な意見があるなかで、決めることはできない。
- 具体像を提言するのが、あり方検討会の設立主旨。それでは存在意義が無くなる。
- あり方検討会のあり方を、ここで蒸し返しても話にならない。アンケートも実施したので、市長にそれらを1つ1つ読んでもらって、来年以降どうするかを決めてもらえれば、それで十分。地域の問題等あるが、一番切実なのは海岸近隣の住民。同じ自治会でも、海から遠ければ関心は少ないが、役員会でアンケートの結果を見せたところ、ほとんど賛同を得られた。小坪・沼間・池子等の住民も誘うのならば、会の発足の時点でその様に構成をすべきだったと思う。
- 直近の3回の検討会で、逗子の住民の意見をまとめたのが中間報告書だと思う。条例を現状維持していこうというのが、中間報告書で言いたい結論だと思うが、条例に至らない部分もあったし、今まで言いたいことを言える機会が無かった、というのを協議会を発足することで言えるようになった。

また、商工会の実施したアンケートは%等も表示されており、影響があったということが良くわかる。市の経済のことは、これからアイディアを出し合えば良いし、環境については既に結論が出ていると感じる。
- 中間報告書の形態に対しては意見は無いが、あり方検討会として条例に対してどうするかは協議を続けていくべき。
- 将来提言をするには、各々の立ち位置がハッキリしていないといけない。また、結論が出ているからそれで良い、では最終的な報告書に提言と言えるものは何も入らないのでは。

<座長> 中間報告書の案についてだが、何か意見がある場合には1週間後位を目途に事務局へ、ファックスやメールで送って頂きたい。頂いた意見はできる限り反映できるようにしたい。
- アンケートには有るが、中間報告書に入っていない項目があるので入れて欲しい。

<事務局> 中間報告書は、予算や条例に関する内容を主にやっている。中間報告書18ページに今後の予定も書いてあるが、中間報告書に入っていない項目については、その中で提言をしていただきたい。

<事務局> 次回の日程については、以前配布した予定表では11月19日となっていたが、市議会と被ってしまったので11月27日を予定したい。改めて案内を送付する。

逗子海水浴場のあり方検討会概要 別表

2014年10月16日の「逗子海水浴場のあり方検討会概要」における意見等を項目別に分類した表となっています。

項目	内容
イベント等 活性化 について	<p><座長> 前回に続き、アンケート結果の予算に関する項目のうち、来年以降の海水浴場の振興・活性化に繋がると考えられるイベント等の項目について、積極的に意見を頂きたい。</p> <p style="text-align: center;">今回の議論内容は、中間報告書の17ページに反映をさせて頂く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ライフセーバーとその器材を使用して、ライフセーバーの目の届く範囲で、子どもと遊べないか検討中である。また、混雑していないときに、空いている場所を使って、綱引き等の子どもが参加できるイベントを期間中、複数回実施できないか。 ● 以前、子ども会を通じてライフセーバーと遊ぶ企画があったのだが、思い出に残る楽しい企画であり、子どもだけでなく親にも好評であった。海に馴染みのない子どもにとっては、ただ泳ぐだけでなく、一步進んだ海の楽しみ方が体験できる機会となる。 ● 子ども達が、建築の段階から夏季の営業まで関わり、ひと夏の間、子どもと大人が関わりあいながら色々と経験できる、ファミリービーチの象徴となる海の家が欲しい。 ● 具体的な実現方法として、ビーチのコンセプトに合った海の家の事業者を公募するのはどうか。公募の際には、運営等で困らないように、補助金等の制度を作って実現してはどうか。 ● 子どもが海に行くチャンスが無くなり、海に行かない子どもが増えたのかもしれないので、昔あった、豊泳会や、割引券をもらって子ども達だけで利用できる海の家が復活すれば良いのでは。 ● 子ども向けに、海で泳ぐ練習を行う通いの合宿を行い、最終的な仕上げで遠泳を行った。海で泳ぐ子どもを増やすことが大事なので、来年にむけて、既に公益財団法人日本水泳連盟等と進めており、草の根運動のような形で始めている。 <p><座長> 様々な団体で輪を広げていき、企画できればと思う。</p> <p><事務局> 子ども向けに限らず、何か振興策等があればそれに関してもお知恵を頂ければ。</p> <p><座長> 様々な団体がスポット的に企画をやっており、その団体と関わりの無い人はイベントの存在自体を知らないことがある。そこを各団体の連携をとり、一連の企画とできれば、参加者の底辺も広がり、市民以外の参</p>

イベント等
活性化
について

加も呼び込めるのでは。

せっかくなので、何か事例報告等あれば、言っていただきたい。

- 今年、下田の弓ヶ浜で海上に遊具を浮かべて、アスレチックを作っていた（「スプラッシュウォーターパーク」）。色々と課題があり簡単にはできないであろうが、面白いので、逗子でもやってみたいと考えて検討している。下田でも大勢の利用者が居たので、逗子で実施すればもっと利用者が集まるかもしれない。
- スプラッシュウォーターパークをニュースで見たが、あれは良いと思う。今までの提案は全て良い物なので、具体的な方法論まで提案すれば、親切だと思う。
- 東京にキッズニアという、子どもが主体となれる施設がある。そこに似たもので、子どもが運営する海の家で大人が楽しませてもらう、というのも面白いのでは。
- 今年、何軒かの海の家が10杯分の値段で11杯飲めるビール券を出しており、私の周りでは好評であった。全ての海の家で使えるビール券のような物や、組合全体で名物を打ち出し各海の家がその名物に特色を出す、のような海岸組合の横の繋がりを強化して欲しい。
- 商工業者としては、来年いかに集客するかという観点で見ている。神奈川県でも「かながわの海岸利用のあり方検討会」などで、色々と規制の話が出始めているなかで、いかに逗子をそこから一段上げてアピールするかが大事。その為には、市が予算を確保して、音頭を取ってまとめる体制を作っていただきたい。民間のみの力では限界がある。
- 商工業者としては当然なのだが海の家は経営を重視するので、今までの様々な案を実現するならば、市がもっと投資をして海の家に関与する必要がある。海水浴場の資産の中心が海の家であるならば、そこに投資する必要があると考える。
- 市が砂浜にオープンスペースを開設して、各団体がイベントを行う際にはそこ使えるようにしてほしい。海岸組合には場所的に負担がかかるが、県と市と海岸組合で調整して実施してほしい。

夏に重点を置くのは当然だが、ファミリービーチとしては、通年の海岸全体を考えていければと思う。

各団体がそれぞれ実施している企画を、市又は観光協会が一括で管理する、ひとつのグループの中に入っていき、という形をしっかりと作りあげた方が良いだろう。観光協会がまさにそれを担う団体だと思うので、各団体がバックアップする必要もある。現状市内では、各団体が様々なアイディアを持っており、きちっとしたことを実施しているが、それをまとめるところが無い。

- 予算等しっかりつけて、観光協会が主体となるのが一番現実的だと考える。
- フリースペースについては、現状の東浜などとあまり変わらないので、インフラを整えて発展させれば、イベントが実施しやすくなるのでは。また、インフラの使用料を海の家等から取れば、それを維持管理費に充てることもできるのでは。

イベント等
活性化
について

- 海岸の公衆トイレには電気・水道が引いてあり、それを上手く使える方策を考えれば不可能ではないが、実現するのは難しい。以前、太陽の季節文学記念碑を設置する際に、トイレから電源を引いて照明を取り付けようとしたのだが、どうしても上手くいかなかった。10年近く前のことではあるが、ハードルは高い。
- マリンショップの大きな収入源としては、会員の置場とスクールがある。統計を取ってはいないが、規制強化の影響による、置場を使用している会員の脱退はほとんど無かった。一方でスクールは、どのショップも台風等天候の影響で土日が潰され、今年の半分となり売り上げ減少の大きな要因となった。環境については良くなったという声があった。

今年、海の家との連携を取れなかったのができれば活性化でき、さらに商店街との連携も取れれば活性化できるのでは、と感じる。
- 総合的なプロモーションや、海岸を含めた逗子での1日の遊び方を案内する、などの機能が今まで無かった。海の家と商店街が意外と関わっていなかったのが、海の家が食材を商店から仕入れる等の繋がりを持って、経済活性化や案内をしても良いのでは。

また、夏の間、警備員ではなくて、案内人や、PR ツールに予算を使っても良いのでは。
- 今まで、商店街は受動的でもそれなりに入っていたが、これを機会に海岸組合に積極的に購入を働きかける等、能動的に動いていき、良い街にしたい。
- 迷惑をかけ続け、言うことを聞かない海岸組合の商売のために、なぜ税金を使って下水道整備をする必要があるのか、排水を垂れ流すのならば海の家自体を止めてしまえばいい、というのが近隣住民の意見。

商工会の発表で、海浜関連事業者の負の上に近隣住民の生活が成り立っている、という意見があったが、発言者の見当は付く。あの人、海を滅茶苦茶にしておいて、未だにその様な意見を言っていることが腹立たしい。自分が代表を務めていた時は、東浜はマリンスポーツエリアだから水上バイクをやるなど言い、海水浴場と海の家を中央に寄せ場所を空けておきながら、代表を辞めたとたん、水上バイクやバーベキューを好き勝手にやり、今年も東浜を勝手に占有している。ヤクザ者を連れてきて、四輪バギーを乗り回して喧嘩にもなっており、警察にも言った。渚橋の横も占有して、自分たちの遊び場の水上バイクを置いている。その様な人が、これまでの責任を何も取らないで、商工会等でのうのうと発言していることが許せない。

しっかり考えてもらいたいのは、今年良かったのだから現状維持して頂きたい、というのが住民の意見。自治会の役員会でも、このままで良い、活性化には興味は無いという意見であった。海水浴客が商店街に、ゴミを捨てたり、排泄したりで、管理していた自治会は困っていたが、それが無くなっただけで万々歳。付け加えるならば、これからは誇りを持って遊びに来た友人逗子海岸に連れて行ける、なら活性化は必要な、という程度。

	<p>10年近くにわたる苦悩からやっと解放されたので、10年以上は現状維持して欲しい。活性化はその先。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「かながわの海岸利用のあり方検討会」で、県に入った収入を全部市へ渡して欲しい、という話があったが、それは最終的な提言に載ったのか。 ＜横須賀土木事務所＞ 権限委譲を検討するという話は、提言には入る。ただし、権限移譲をした場合には、日常的管理全般を通年で行う必要があるため、かえって支出が増えるという実態がある。 ● 海岸法の主旨は、以前は海岸災害からの防護に重点を置いていたが、改正されて現在では防護のみならず適正な利用等も含まれているはず。 ● 地域の商店街等が潤わないと、逗子市の財政にどの程度影響があるのか、地域の住民にどの程度影響があるのかを知りたい。商店街の潤いと地域住民の生活とは、別の要素なのか。 ● 商店の存在による生活の利便性等を考えると、影響はあるのではないか。 ● 商店からの税収が、どれだけ逗子の財政に影響があるのか。 ● 海岸でイベントをやるにしても、市民が楽しむためか、市外からの誘客のためかにより、案を出すにしても、市民の必要な我慢の案分等のどの程度自分ごとなのかという前提の上で意見・提言をしたい。 ● 海水浴客が葉山の方に流れたと観光協会の話のなかであったが、バスに乗っている人が例年よりも多かったと聞いていたので、納得した。今年逗子が厳しくなり、客が鎌倉に流れるだろうと予想されたが、鎌倉も客数が減っている。人の流れについて疑問なので、市の方から何か聞かせてもらえれば。 ＜事務局＞ 葉山・鎌倉共に海水浴客数は1割程減少しており、逗子は半減なので、相対的に葉山に行く人の割合が増えている。また、鉄道の利用者は減っているが、海沿いのロードオアシス（駐車場）は利用者が増えている。半減している上に、鉄道利用者が減っているのであれば、葉山に行く人の割合が上がっており、葉山に行く人が増えていると捉えられる可能性は十分あり得る。 ● 商店街の組合のなかに、海岸組合が入ってないと聞いたのだがどうなのか。 ● 海の家経営者が、どこかの商店街に所属していることはあるが、海岸自体は商店“街”ではない。 ● 昔の海の家組合は、シンボルロードから海岸近辺まで、旅館も含めた巨大な組合だったと聞いたことがあるのだが。 ● 恐らく別組織ではないだろうか。 ● 10年程前に中心市街地活性化事業というものがあつた。その後、景気悪化等で活性化できる状況で無かったが、そこに再度注目して新しい息を吹き込めれば、話題にはなるだろう。 ● 海岸組合から、今年の5月に下水道の整備で、中心市街地活性化事業の補助金を国に申請しようとしたところ、市長のサインが必要だったのだが、係争中とい

その他

うことで断られたと聞いた。

- 今の話は、以前行政の集まりが無いなかで新宿地区の方が場所を開いてくださり、自由に意見を言っていた、そこで出ていたような話。その場でも意見やお願いごとを、当時の組合の代表者に言っても、結局何もやってくれなかった。それで規制が実施されたので、市長がここまでやってくれたなら、現状維持で良い。現状維持で良いと思っている人は声を上げないので、そうで無い人の意見が大きく聞こえるだけ。
- あり方検討会内部で合意・整合性をとらずに、意見の羅列だけでは市長は判断のしようが無いのではないか。
- 現在のあり方検討会は、新宿・逗子の住民が固まっているので、海岸からは遠い住民や商工業者にとっても、フェアな会が運営されるメンバーではないと感じる。この会の多数決は地元住民の代表でありながらも、地元だけを考えるのではない立場に立って検討すべきではないか。
- だから、多数決で意見を決めなくても良いし、皆がその立場で意見を言い、最終的には市長が判断すれば良いのでは。
- あり方検討会として議論した結果、会としての明確に意見を出すべきだと考える。その際に補足意見として、反対意見を載せる必要もあるが、ある1つの線はあるべき。
- それは無理なのでは。例えば、今回の商工会のアンケートは画期的であり、住民側としては初めて知ることもあり、もっと地元で買い物をする動きになったりする。あり方検討会に参加したことで住民も色々なことを知れる。だが、最終的には様々な意見があるなかで、決めることはできない。
- 具体像を提言するのが、あり方検討会の設立主旨。それでは存在意義が無くなる。
- あり方検討会のあり方を、ここで蒸し返しても話にならない。アンケートも実施したので、市長にそれらを1つ1つ読んでもらって、来年以降どうするかを決めてもらえれば、それで十分。地域の問題等あるが、一番切実なのは海岸近隣の住民。同じ自治会でも、海から遠ければ関心は少ないが、役員会でアンケートの結果を見せたところ、ほとんど賛同を得られた。小坪・沼間・池子等の住民も誘うのならば、会の発足の時点でその様に構成をすべきだったと思う。
- 直近の3回の検討会で、逗子の住民の意見をまとめたのが中間報告書だと思う。条例を現状維持していこうというのが、中間報告書で言いたい結論だと思うが、条例に至らない部分もあったし、今まで言いたいことを言える機会が無かった、というのを協議会を発足することで言えるようになった。
また、商工会の実施したアンケートは%等も表示されており、影響があったということが良くわかる。市の経済のことは、これからアイデアを出し合えば良いし、環境については既に結論が出ていると感じる。
- 中間報告書の形態に対しては意見は無いが、あり方検討会として条例に対して

その他	<p>どうするかは協議を続けていくべき。</p> <ul style="list-style-type: none">● 将来提言をするには、各々の立ち位置がハッキリしていないといけない。また、結論が出ているからそれで良い、では最終的な報告書に提言と言えるものは何も入らないのでは。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------